

令和7年度第1回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和7年8月22日
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度1回目となる意見交換会を開催しましたので御報告します。

- 1 日 時 令和7年8月4日（月）10:30～11:45
- 2 開催方法 Zoom ミーティング
- 3 出席者 消費者団体2団体5名
京都府（水産課、農政課）5名

4 概 要

（1）主な内容

食品表示法に基づく間人ガニ産地偽装への京都府の対応について
京都府産ズワイガニのブランド適正化について

（2）主な意見や質疑応答

- Q. ズワイガニの生息地が多数あるとのことですが、海外産と府内産とで食味の違いはあるか。
- A. 生息地の違いによる生物学的な違いはありませんが、府内産は海外産に比べ、近海で漁を行うため消費者に届くまでの日数が短く、鮮度が高いと評価をいただいている。
- Q. 間人ガニのブランド価値再興への取組をどのように情報発信しているか。京都府のホームページまで見れば関連情報が掲載されているが、例えば府民だよりで特集ページを組むなど、より積極的に府民へ発信するべきではないか。
- A. ブランド適正化協議会への取材を報道機関へお願いしており、ブランド価値再興に向けて漁業者が頑張っている姿をテレビや新聞等で報道していただいているところ。また、府民だよりへの掲載については、カニのPRという形であれば掲載可能と考えており、今後検討していきたい。

（3）アンケート結果

ア アンケート平均点 4.00点（5点満点）

イ 主な意見・感想

- ・ 水産物の資源保全やブランド力の向上についての努力がよくわかった。
- ・ 水産物の価格高騰により消費者の手が出にくくなっており、水産資源が枯渇しないような取組の強化が必要だと思った。